

ポテトデキストロース寒天培地（混釈用寒天培地）

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

このポテトデキストロース寒天培地は、検体中の真菌（カビ・酵母）を迅速に分離検出できるようにしたもので、各種抑制剤によりその他の微生物の増殖を抑制しています。

2. 概要

ポテトデキストロース寒天培地は、真菌（カビ・酵母）を把握するのに用いられます。真菌は、土壌・空気・水などに広く分布し、食品の変敗を引き起こしたりする菌種もありますが、カビ毒を産生する病原性の菌種も存在します。一方では、発酵食品や抗生物質などの有効物質の産生に欠かす事の出来ない菌種も存在します。

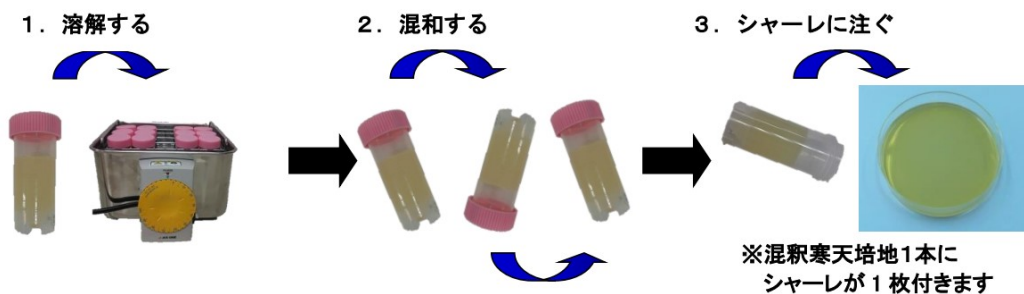
3. 使用方法

3-1 95℃程度で30分ほど湯せんします。

3-2 湯せん後、45℃～50℃の培地溶液に試料を添加して混和し、これをシャーレに静かに流し入れます。

（シャーレに試料を入れておいて、湯せんした培地溶液を流し込んでも、混釈できます。）

※ 使用法（お徳用シャーレ付ACM）



※ お徳用 ACM のひと箱に湯せん用フロッターがサービスで添付されています。



4. 培地の保管方法

培地は、常温の暗所で保管して下さい。

5. 試験成績書

（以下のページは、培地性能参考資料）

試験成績書

製品番号 ACM008

製品名 ホトデキストロス寒天培地
(混釈寒天培地)

製造番号 A19CC

使用期限 2022年4月16日



マイクロバイオ株式会社
品質管理部

<性状試験>

試験項目	規格	判定
外観	淡黄茶色な培地 異物を認めない	適合
pH	5.7±0.2	適合
無菌試験	菌の発育を認めない (25±2°C 7日間)	適合

<培養試験>

試験菌株	接種菌数	培養温度	培養時間	判定
<i>Candida albicans</i> NBRC 1594	100CFU 以下	24°C	48時間	接種菌の出現集落数は、標準化された菌液の計測値の1/2～2倍以内。有効性が確認された培地バッチで以前に得られた発育と同等の発育を認める。
<i>Aspergillus brasiliensis</i> NBRC 9455	100CFU 以下	24°C	72時間	

<合否判定>

総合判定日	2022年 1月26日	総合判定	適合
-------	-------------	------	----

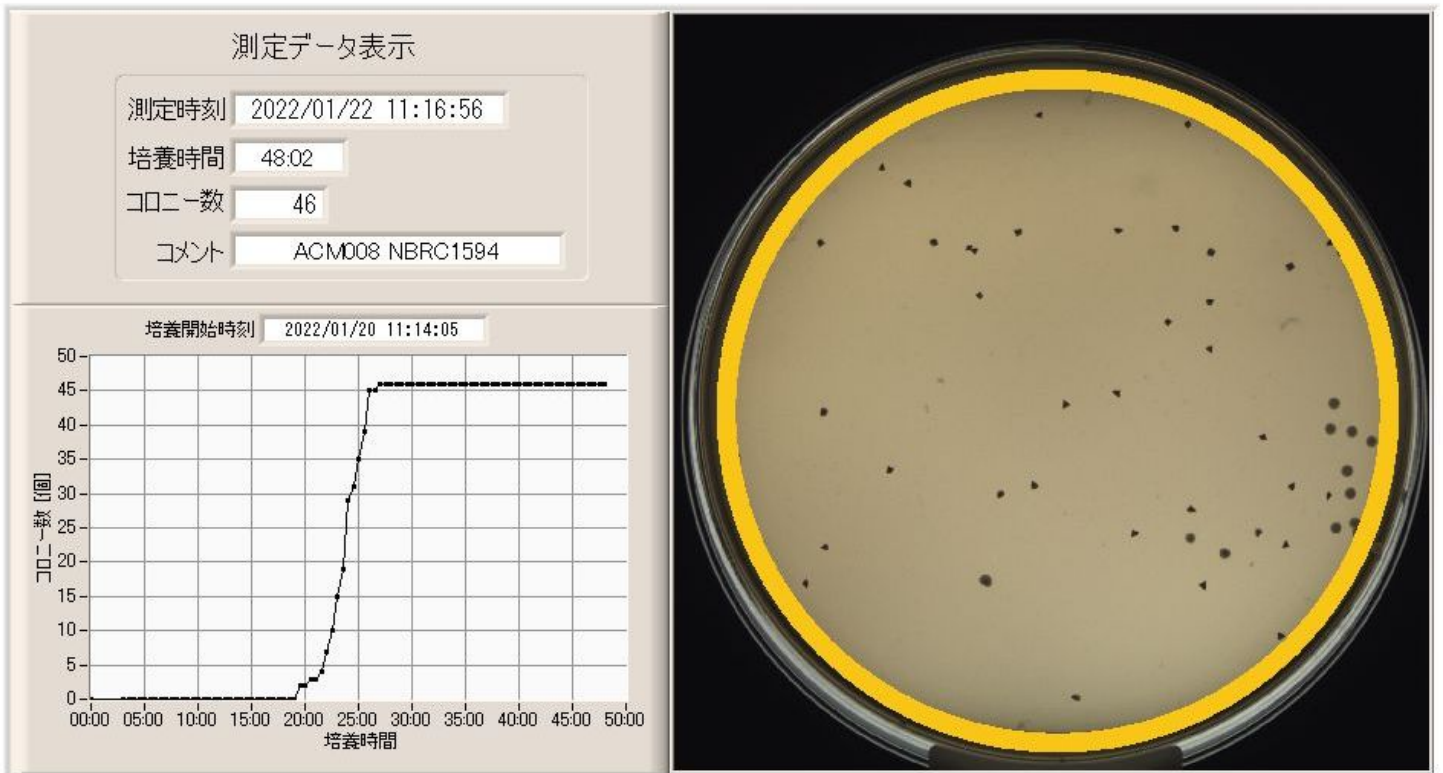


図1 . 標準菌株 *Candida albicans* NBRC 1594 の発育画像

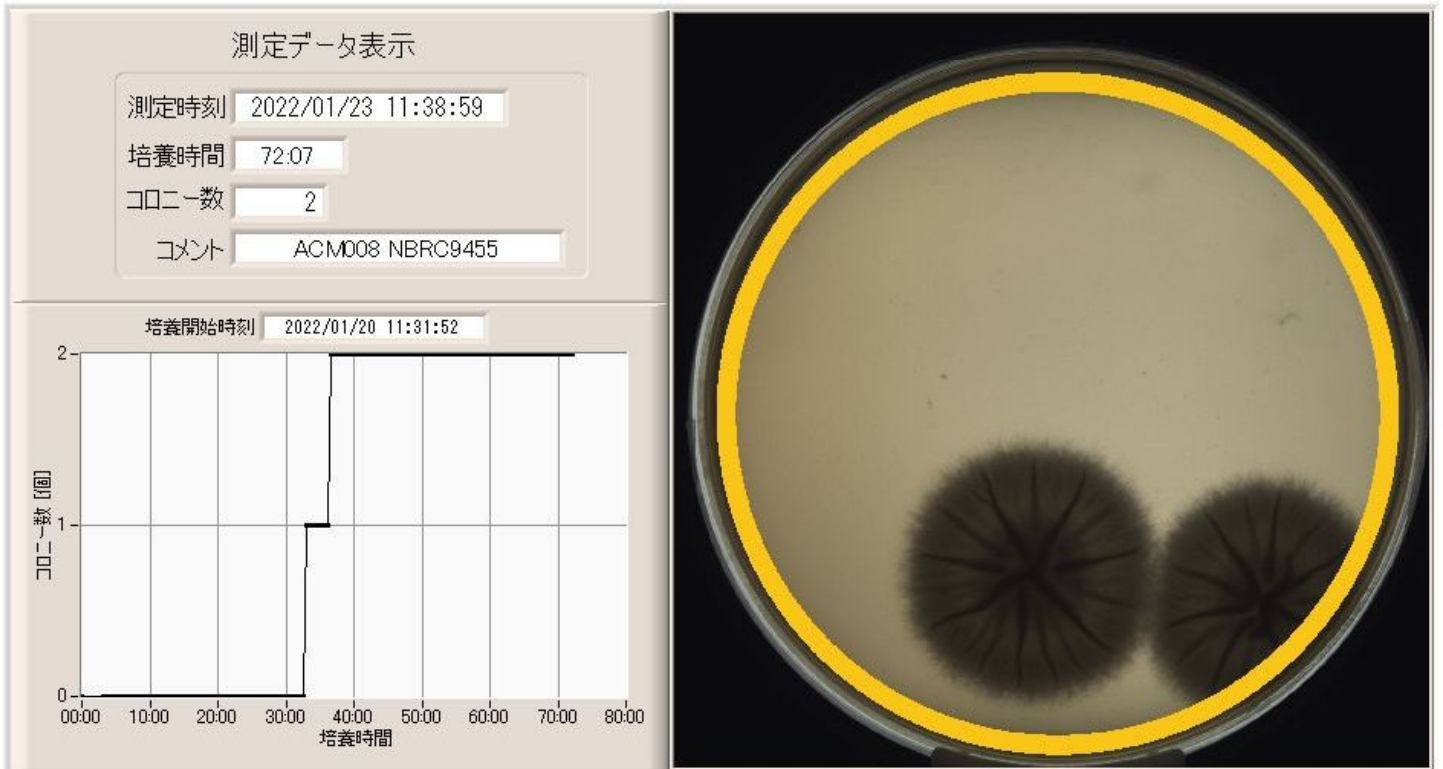


図2 . 標準菌株 *Aspergillus brasiliensis* NBRC 9455 の発育画像